

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月1日

上場会社名 大宝運輸株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 9040 URL <http://www.taiho-gh.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小笠原 忍  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大久保 知明 (TEL) (052) 871-5831  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年3月21日~2022年12月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,078	2.6	216	9.8	230	10.2	150	△12.7
2022年3月期第3四半期	5,927	△3.3	197	49.4	208	44.9	172	86.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第3四半期	202.02		—					
2022年3月期第3四半期	231.49		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	9,834	6,260	63.7	8,387.95
2022年3月期	9,950	6,178	62.1	8,278.19

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 6,260百万円 2022年3月期 6,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2023年3月期	—	50.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年3月21日~2023年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,150	5.0	340	38.7	350	36.6	200	△2.1	267.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期3Q	756,000株	2022年3月期	756,000株
2023年3月期3Q	9,688株	2022年3月期	9,668株
2023年3月期3Q	746,316株	2022年3月期3Q	746,365株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化に向けた動きが見られましたが、ウクライナ情勢の長期化や、原材料価格・エネルギー価格の高騰、円安に伴う急激な物価高など、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

その結果、営業収益は60億78百万円（前年同四半期比2.6%増）、経常利益は2億30百万円（前年同四半期比10.2%増）、四半期純利益は1億50百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、35億44百万円(前期末比1.0%増、33百万円増)となり、そのうち現金及び預金は21億2百万円（前期末比43百万円減）、受取手形及び営業未収入金は13億80百万円(前期末比53百万円増)となりました。

固定資産は、62億89百万円(前期末比2.3%減、1億50百万円減)となり、そのうち有形固定資産は58億3百万円（前期末比1億59百万円減）、投資有価証券は2億33百万円（前期末比8百万円増）となりました。

流動負債は、11億21百万円(前期末比8.7%減、1億7百万円減)となり、そのうち未払法人税等は12百万円（前期末比97百万円減）、賞与引当金は91百万円(前期末比82百万円減)となりました。

固定負債は、24億52百万円(前期末比3.6%減、90百万円減)となり、そのうち長期借入金は21億15百万円(前期末比1億35百万円減)となりました。

純資産は、62億60百万円(前期末比1.3%増、81百万円増)となり、そのうち利益剰余金は39億93百万円(前期末比76百万円増)となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2022年4月28日の決算短信発表時点と変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月20日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,145,722	2,102,193
受取手形及び営業未収入金	1,327,616	1,380,653
貯蔵品	13,832	10,419
未収還付法人税等	—	11,370
その他	24,759	41,252
貸倒引当金	△1,400	△1,400
流動資産合計	3,510,531	3,544,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,259,455	7,250,999
減価償却累計額	△4,688,480	△4,807,024
建物及び構築物（純額）	2,570,975	2,443,974
機械装置及び運搬具	1,504,461	1,461,228
減価償却累計額	△1,392,407	△1,361,628
機械装置及び運搬具（純額）	112,054	99,599
土地	3,163,267	3,163,267
その他	386,378	382,464
減価償却累計額	△270,112	△285,753
その他（純額）	116,265	96,711
有形固定資産合計	5,962,562	5,803,552
無形固定資産	24,432	18,930
投資その他の資産		
投資有価証券	225,033	233,208
差入保証金	54,463	53,580
その他	173,315	180,478
投資その他の資産合計	452,811	467,268
固定資産合計	6,439,805	6,289,752
資産合計	9,950,337	9,834,241

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月20日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	242,832	248,500
1年内返済予定の長期借入金	180,540	180,540
未払法人税等	109,805	12,386
賞与引当金	173,508	91,350
役員賞与引当金	24,000	18,000
その他	498,091	570,801
流動負債合計	1,228,778	1,121,578
固定負債		
長期借入金	2,250,767	2,115,362
退職給付引当金	63,427	64,730
役員退職慰労引当金	190,690	194,053
その他	38,400	78,486
固定負債合計	2,543,284	2,452,631
負債合計	3,772,063	3,574,210
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,140,000	1,140,000
資本剰余金	1,120,000	1,120,000
利益剰余金	3,917,426	3,993,562
自己株式	△32,779	△32,841
株主資本合計	6,144,646	6,220,721
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,627	39,309
評価・換算差額等合計	33,627	39,309
純資産合計	6,178,274	6,260,030
負債純資産合計	9,950,337	9,834,241

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年3月21日 至2021年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自2022年3月21日 至2022年12月20日)
営業収益	5,927,164	6,078,566
営業原価	5,429,110	5,562,041
営業総利益	498,054	516,525
販売費及び一般管理費	300,581	299,783
営業利益	197,473	216,741
営業外収益		
受取利息	41	26
受取配当金	11,141	11,830
受取保険金	2,700	2,781
補助金収入	—	1,656
その他	4,428	3,580
営業外収益合計	18,312	19,875
営業外費用		
支払利息	7,049	6,512
その他	3	—
営業外費用合計	7,052	6,512
経常利益	208,733	230,105
特別利益		
固定資産売却益	8,451	7,266
投資有価証券売却益	49,761	—
特別利益合計	58,213	7,266
特別損失		
固定資産除却損	698	510
特別損失合計	698	510
税引前四半期純利益	266,247	236,861
法人税、住民税及び事業税	57,000	48,500
法人税等調整額	36,468	37,592
法人税等合計	93,468	86,092
四半期純利益	172,779	150,768

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。また、当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社の主たる事業は物流事業であり、その他の事業の売上高、利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。